



「地旅づくり」について（平成21年6月定例会）

今年度の地域振興部の予算書を見てみますと、「食」や「体験交流プログラム」等の滞在型観光素材の流通促進を図り、新たな観光ニーズに対応することや、地域で頑張る人と地域の素材を活かした振興の観点から、「地旅づくり」の促進が述べられています。

地域を支える人を育て、まだ日のあたっていない地域の無名の素材を、多様化する観光ニーズにマッチさせる試みは大変貴重であり、正に、一つ一つを着実に育て上げることが肝要だと思います。

「地旅づくり」を通じて地域の人と無名の素材をどのように育成されていかれる予定なのか、長期的視点を踏まえて、ご見解をお伺いいたします。

【地域振興部長答弁】

本年度からは、取組をステップアップさせ、人材育成につきましては、「やまぐち観光交流塾」において、「テイク・オフ講座」を開催し、商品企画力等の一層のレベルアップを図ることとしております。

また、それぞれの現場が抱える課題に対応して専門家を派遣することにより、地旅の商品造成に向けた、より実践的なノウハウの習得を支援することといたしております。

また、素材の育成につきましては、県及び地旅やスローツーリズムの推進団体等が、本年5月に設立したネットワーク組織におきまして、関係者が一体となって、地域の隠れた素材を発掘し磨き上げますとともに、商談会の開催や招請ツアー、訪問営業等を通じまして、商品企画を旅行会社に売り込み、旅行商品化とその流通促進に繋げていくことといたしております。

そして、このネットワーク組織の基盤が強化され、将来にわたり、地旅づくりが自立的・継続的に進められますよう、販売活動や顧客の確保に向けた取組を支援していきたいと考えております。